



～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査し、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので、予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2012/12/7～2016/11/30にご同意いただいた方

【研究課題名】 バイオバンク検体を用いた血液中精神疾患バイオマーカーの探索，検証

【研究責任者】 二村 隆史（大塚製薬株式会社）

【本研究の目的及び意義】

統合失調症、大うつ病及び双極性障害では、鑑別診断に加え、生物学的な背景に基づく疾患分類が重要視されている。今回、患者様、健常者の血液内の生理活性物質を網羅的に測定し、疾患判別、診断補助が可能か、また生理活性物質と関係する臨床背景情報があるかについて検討する。

【本研究に提供している試料・情報】

血液

【問い合わせ窓口】

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターバイオバンク

所属 メディカルゲノムセンターバイオリソース部

電話番号 042-346-3520

e-mail: biobank※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)